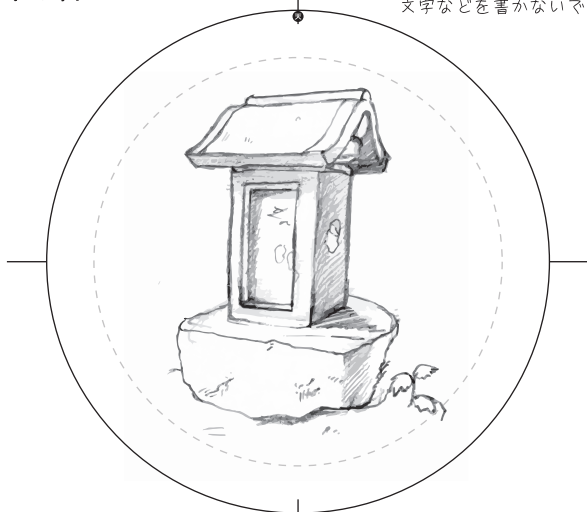


山の神さま

※点線の内側がバッジの仕上がりサイズです。点線の外側には文字などを書かないでください。

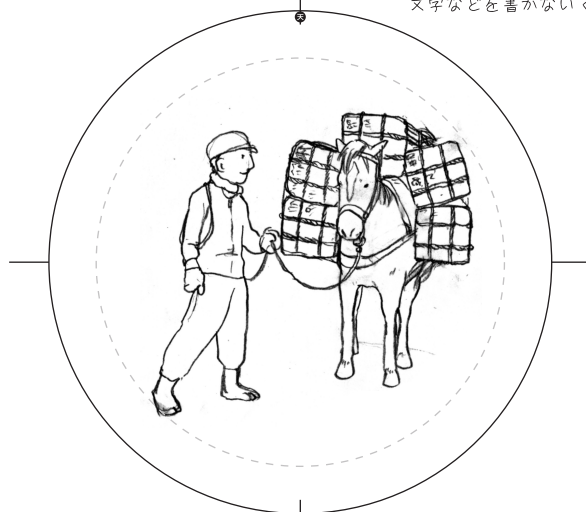


物語は、山のふもとに暮らすじいちゃんの家、町に住む小学生のタックンが遊びにきま、山のまっぺんの祠（ほくら）まで一緒に登るところから始まります。南三陸地域のおもな山の頂上には、山の神さまや金華山（きんかさん）などをおまつりする石碑や祠があり、その周りには御神木（ごしんぼく）として杉が植えられていることが良くあります。

なまえ

馬搬（ばはん）

※点線の内側がバッジの仕上がりサイズです。点線の外側には文字などを書かないでください。

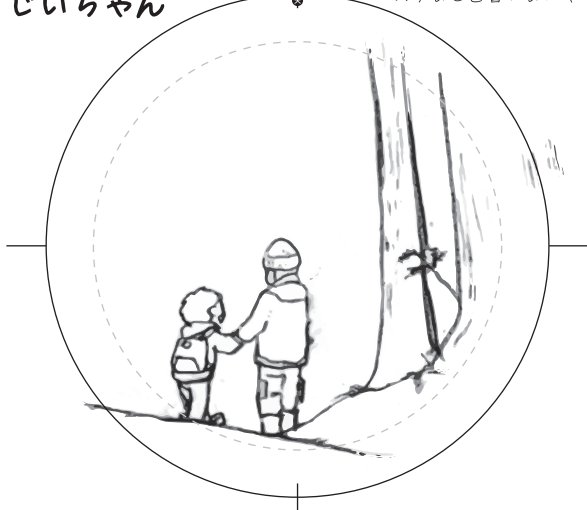


今ではなかなか見かけませんが、かつて馬は農作業や荷物の運搬に活躍してくれる大事な動物でした。馬で荷物を運ぶことを馬搬（ばはん）といい、それを仕事とすることを駄賃附（だちんづけ）といいました。「お駄賃」の語源ですわ。ここでは、山で焼いた炭（すみ）を茅（かや）で編んだ「炭すご」で包み、馬の背に乗せて運ぶ様子を描いています。

なまえ

タックンとじいちゃん

※点線の内側がバッジの仕上がりサイズです。点線の外側には文字などを書かないでください。

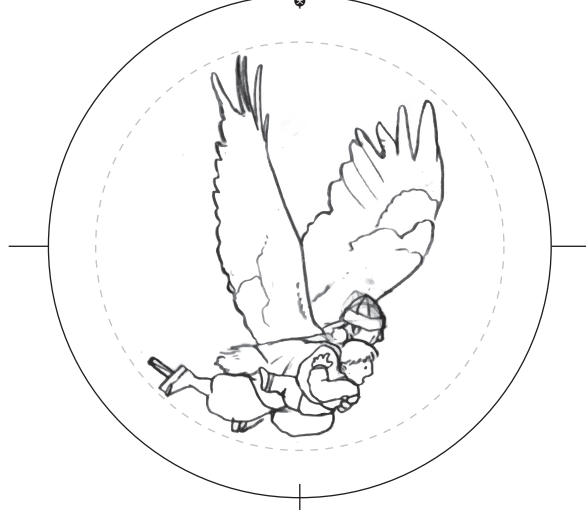


杉木立の中を、山の神さまに見守られながら帰っていきじいちゃんとタックン。

なまえ

じいちゃん天狗

※点線の内側がバッジの仕上がりサイズです。点線の外側には文字などを書かないでください。



イヌワシの翼を持ったじいちゃん天狗（まんぐ）に抱えられて飛び立つタックン。天狗は山にすむ力の強い存在で、神とも妖怪ともいわれます。山伏（やまぶし）の格好をしていて、鼻が高く赤い顔のものと、鳥のくちばしを持ったもの（いわゆる「カラス天狗」）がありますが、どちらも自由自在に空を飛べる神通力（じんつうりき）を持っています。

なまえ

▼切り取って、封筒にはりつけて使ってね。右がわには自分の住所を書いてね▼

〒986-0729

宮城県本吉郡南三陸町志津川天王前 205-12

南三陸ネイチャーセンター友の会事務局

イヌワシぬりえ缶バッジ係あて

〒

じゅうしょ

なまえ